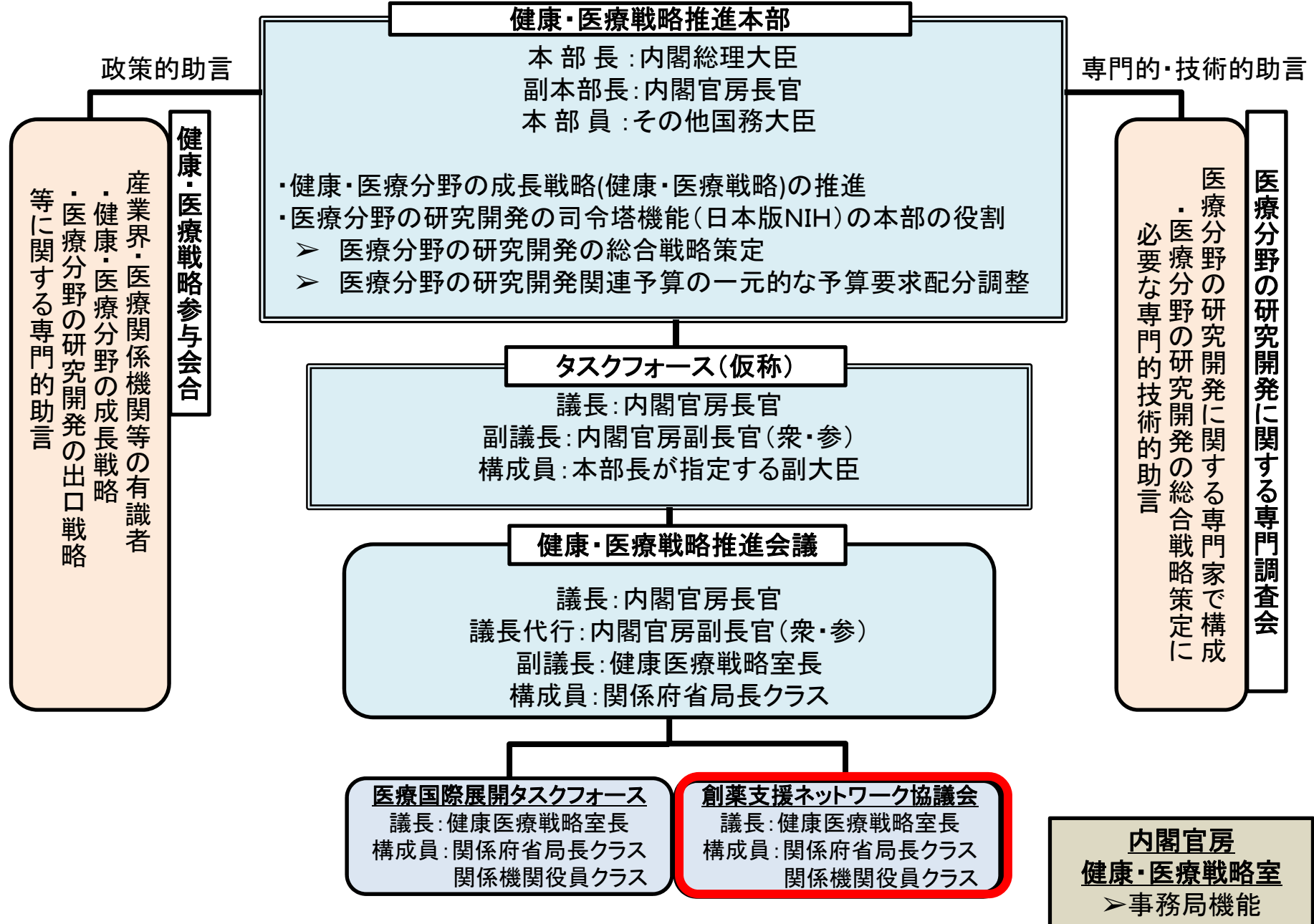
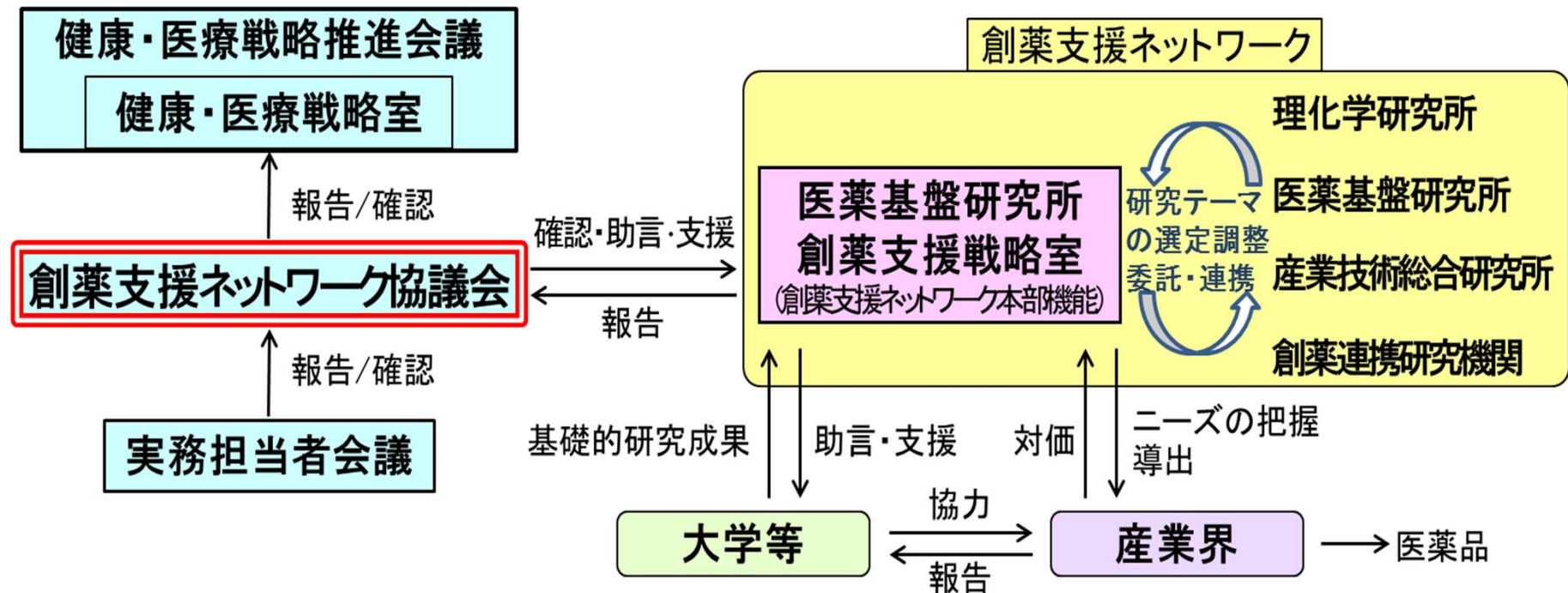


創薬支援ネットワークの取組状況について

健康・医療戦略推進本部



創薬支援ネットワーク協議会

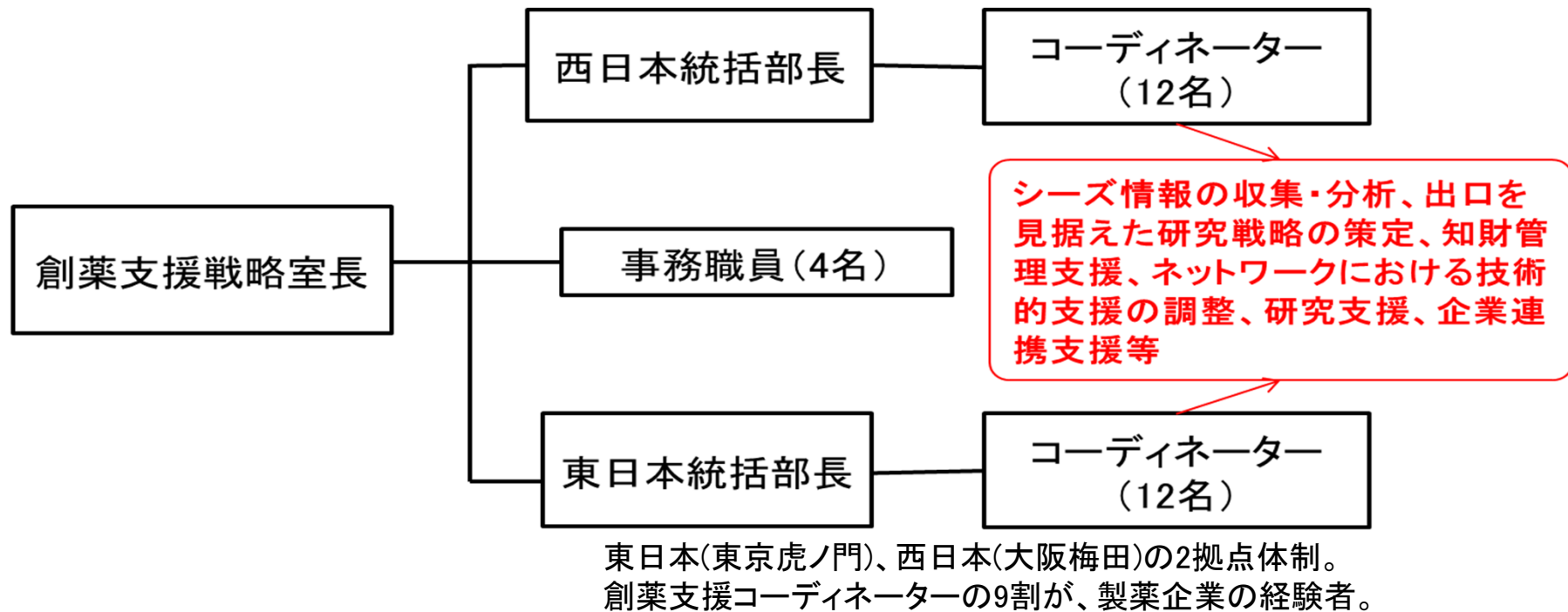


「創薬支援ネットワーク」は、目利き機能を発揮して、大学等の基礎的研究成果から、創薬シーズを選び出し、実用化に導くことを目指しています。

医薬基盤研究所内に5月に設置された創薬支援戦略室がネットワークの本部機能を担い、理化学研究所および産業技術総合研究所等との連携によって、実用化までのさまざまな段階での相談、支援、さらに、企業への導出の調整を行うという取組です。

実務担当者会議では、各研究機関の機能について具体的に確認するなど、連携を強めています。

創薬支援戦略室



創薬支援戦略室は、国際標準の目利き評価、研究戦略の策定、プロジェクト管理を行うことのできるコーディネーターによる、いわば公的な創薬のエキスパート集団で構成しています。製薬企業の研究開発経験者の他、知財管理の専門家も擁しています。

研究者から持ち込まれた相談に基づいた「創薬ナビ」、コーディネーターが大学や研究機関等に出向いて情報を収集する「大学キャラバン」等を行って研究情報を収集し、創薬シーズとしての可能性の観点から選定したものについて、具体的な支援相談を開始しています。既に百数十件の研究から、可能性のあるシーズを数件抽出しています。